

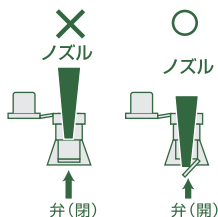
## 使用方法

- 1 マット部分を膨らませます。  
マット上の2つのバルブの内、枕側のバルブから空気を注入します。



バルブ

- 2 バルブの蓋を開け、ポンプのノズルをバルブの注入口に差し込みます。  
必ずポンプのノズル先端が、バルブ内の弁を貫通するまでしっかりと押し込み、弁が開いた状態で空気注入してください。



弁が閉じたままでは空気は入りません。また、電動ポンプの場合、破損の原因となります。

ノズル先端が弁に届かない場合は、弁付近を指でつまむと弁が開きますので、つまみながら空気注入を行ってください。(つまんでも開かない場合は、いろいろな方向からつまんでみてください)



- 3 空気を入れる際の注意点!  
足踏み(手動)ポンプで空気を入れる際は、必ず1踏み毎に2秒の間隔を開けてください。連続して踏むと、内部に過度の圧力が加わり、破損の原因となります。必ず守ってください。

- 4 バルブの蓋を閉じます。  
バルブからノズルを抜くと、急激に空気が抜けて出てきます。以下の手順ですばやく蓋を閉じてください。

- 1.ノズルをバルブ口から抜くと同じに、バルブ口をすばやく親指で塞ぎます。
- 2.そのままの状態で10秒程待ちます。
- 3.親指を除けると同時にすばやくバルブの蓋をしてください。
- 4.蓋をしっかりと閉め蓋が外れないか確認してください。

※急激な空気注入や入れ過ぎは、  
破損の原因となります。十分にご注意ください。

## 空気排出方法

バルブの蓋を外し、空気を抜きます。空気を抜く時は、足先側のバルブから空気を抜きます。足先側のバルブは、空気排出専用バルブですので、弁が付いていません。蓋を開けると空気が排出されます。マットを少し折り畳み、その上に鞆等の重しを置いて10分程放置すると、かなりの空気が抜けます。あとは、折り畳みながら全ての空気を押し出してください。

## 補修方法

エア漏れ時の補修方法は、付属の補修フィルム(透明)をご使用ください。フィルム裏面の使用方法をよく読んでご使用ください。  
※補修はあくまでも応急処置とお考えください。一度エア漏れが生じると補修箇所や補修箇所以外の箇所に過度の負担がかかり通常よりエア漏れしやすくなるため取り替えをおすすめいたします。  
※起毛箇所や凹凸箇所では補修できません。

## ポンプに関するご注意

本品にはフットポンプが付属していますが、より早く膨らます場合は容量の多いポンプをお求めください。電動ポンプでは十分に膨らまないことがありますので、足踏みポンプがおすすめです。

※付属のフットポンプは足踏みポンプになります。